2025年度　環境保全報告書

1、温室効果ガスの抑制に関する実施状況

当社では、環境マネジメントシステムISO14001を運用しており、電気及び天然ガス（蒸気ボイラー）使用量削減を主に省エネルギーの推進、土壌汚染の防止、環境に配慮した製品の開発、環境影響物質の管理に努めています。

CO2排出量は2025年の実績で「神戸工場内のCO2発生量を2013年度比5%削減(95%以下に)する。」とした目標に対し、製品需要増加による生産量の増加により98．60%（1．40%削減）と目標未達成でした。

本年度は温室効果ガス抑制目標達成に向け、努力と新たな工夫を実行していきます。

前年度（2025年度）における神戸工場内のCO2発生量

電気	使用量×CO2排出係数 ＝　268,995 kwh×0．358kg／kwh ＝　96,300 kg
都市ガス	使用量×単位発生量×CO2排出係数 ＝　51,365 m3×45MJ／m3×0．0513kg／MJ ＝　118,576 kg
燃料油（A重油）	使用量×単位発生量×CO2排出係数 ＝　4,400 L×39．1MJ／L×0．0693kg／MJ ＝　11,922 kg
合計	226,799 kg
基準年度比	**98.60 %**

基準年度（2013年度）における神戸工場内のCO2発生量

電気	年間使用量×CO2排出係数 ＝　299,387 kwh×0．356kg／kwh ＝　107,181 kg
都市ガス	年間使用量×単位発生量×CO2排出係数 ＝　43,996 m3×45MJ／m3×0．0513kg／MJ ＝　101,565 kg
燃料油（A重油）	年間使用量×単位発生量×CO2排出係数 ＝　7,850 ×　39．1MJ／L×0．0693kg／MJ ＝　21,271 kg
合計	230,016 kg

2、2025年度　重点取組目標・計画の実施状況

	分野	目標	達成状況	実施状況
1	環境マネジメントシステムの維持改善	ISO14001認証継続	認証継続	2025年2月に外部機関の定期審査を受け、認証継続達成
2	温室効果ガスの抑制	神戸工場内のCO2発生量を2013年度比5%削減(95%以下に)する。	98．60% 未達成	省エネルギーの推進に向けた各施策を実施した
2	省エネルギーの推進	神戸工場における電気使用量を2013年度比5%削減(95%以下に)する	89．85% 達成	不要な照明の消灯を徹底した
				省エネ型照明に取替した
				センサーライトを導入した
				空調の温度管理を徹底した
				インバーターを導入した
		神戸工場におけるガス使用量を2013年度比5%削減(95%以下に)する	116．75% 未達成	蒸気加熱設備におけるスチームトラップ、保温材等の管理を徹底した
				運転温度の適正管理を徹底した
				蒸気配管の系統見直し、及びバルブ数の増加により不要な加熱箇所を減らした
3	土壌汚染防止	油漏洩による土壌汚染を発生させない	土壌汚染ゼロ達成	油取扱管理手順書を遵守した作業を徹底した
				液面警報を増設した
				緊急事態対応訓練を実施した
4	廃油・廃棄物の適正処理・減量	廃棄物を適正に処理し、リサイクル可能品については分別を徹底する	実施中	廃油・廃棄物の分別方法を手順書で詳細に明確化、遵守を徹底し廃棄物発生量を減少させた
			実施中	ダンボール、古新聞等　近隣町内会の廃品回収へ協力した
5	環境に配慮した製品の開発	環境に配慮した製品を開発する	10製品開発	環境に配慮した10製品を開発した
		購入品のグリーン調達を実施する	実施中	購入品のグリーン調達を実施した
6	環境影響物質の管理	環境物質の数量管理を実施する	実施中	取り扱った数量を管理した
7	自動車対策	マイカー通勤をしないようにする	実施中	社員のマイカー通勤を禁止した
		構内における車輌事故を防止する	事故ゼロ達成	構内速度10km／h以下を徹底した
8	従業員教育	全員従業員が環境教育を受講する	全員従業員受講	教育を年2回実施した
9	地域社会への参画	地域の環境保全活動への社員参加	参加	兵庫運河を美しくする会清掃活動に参加した

3、公害防止対策に係る計画の結果報告

（2025年3月1日～2026年2月28日）

①水質関係

（測定結果）

項　目	目標値	測定値	
		最小値～最大値	平均値
水素イオン濃度（pH）	5．2～8．8	5．3～7．8	6．0
ノルマルヘキサン抽出物含有量	5．0mg／以下	最大5．0mg／L	

②大気関係

項　目	実施内容	目標達成状況	目標達成の措置・対策
大気汚染防止対策	ばい煙の排出規制の遵守	ボイラー2基の適正な維持管理と運転を行った。	ボイラー2基の適正な維持管理と運転を行った。

③騒音・振動関係

項　目	実施内容	目標達成状況	目標達成の措置・対策
騒音・振動防止対策	近隣に影響を及ぼさないよう配慮する。	製造設備による騒音・振動による苦情等の発生は無かった。	毎日のパトロールで騒音・振動を監視した。
			新規設備の導入による騒音・振動の増加は無かった。